

|         |  |
|---------|--|
| 事業名     | 出張型(巡回型)ひろば事業  |
| 団体名     | 子育て支援ワーカーズ ほっとまむ   |
| 事業概要    | 北広島市は地域間の交通の便が悪く、自家用車でなければ市の子育て支援センターや児童センターなどの施設の利用が難しい地域がある。そのような地域に出向き、親子や小学生が気軽に集い遊べる場所を提供する。<br>当団体運営のトイライブラリーもくていの貸出コーナーをひろば内に設ける。また、市民ボランティアスタッフを募り、様々な世代が交流できる場とする。  |
| 協働の必要性  | 子育て世代が住んでいる地域には必要なコミュニティ事業であると考え、自己資金や市補助金等さまざまな助成も活用し開催してきたが、収益性が求められない事業であることから、継続開催のための運営資金の視点及び、市施設まで来ることが出来ない地域の子育て環境の拡充の視点から協働事業として提案に至った。   |
| 役割分担    | <input type="checkbox"/> 団体が担う役割<br>①会場の手配<br>②ひろば実施に関する準備、搬出入、設営、スタッフ配置など<br>③来場者の情報管理<br>④チラシ作成等の広報活動<br>⑤地域のニーズ調査(アンケート実施)<br><input checked="" type="checkbox"/> 市に期待する役割<br>①会場費や出張旅費、保険料などの経費及び人件費の支援<br>②周知するための広報の協力<br>③必要な地域(巡回先)の選定   |
| 協働の効果   | <input type="checkbox"/> 団体にとっての効果<br>①経費等の資金面の支援を受けることで、事業を継続的かつ広い範囲で実施できる。<br>②より多くの地域の親子と出会い、当団体を知ってもらうことができる。<br><input checked="" type="checkbox"/> 市にとっての効果<br>①市で設置している施設でカバーしきれない地域の親子や子どもたちの居場所づくりの拡充が図れる。<br>②少数のニーズにも応えることができる。<br>③市全体に子どもたちの居場所がある、きめ細かいまちづくり。<br>④地域の親子の声をキャッチし、困りごと等の相談事案を関係機関につなげるなど必要な情報を伝えることができる。 |
| 団体の目的   | ①子どもと子ども・親と親・そして子どもと大人が出会う場所(ひろば)に集うことで、子育ての悩みや成長の喜びを共有しあい、その心地よさと心強さを感じてほしい。<br>②親子で楽しく遊べるひろばを中心とした活動を通して、地域に見守られた人とかかわり合う子育ての良さを伝えいく。<br>③子どもの成長を見守り親子の気持ちに寄り添いながら、安心して子育てができる地域づくりを目指す。   |
| 過去の活動実績 | ①巡回型ひろば「ひろばDEもくていたいむ」開催 6回 参加169名<br>②体験遊びとおもちゃ貸出「ほっとまむトイ・ライブラリーもくてい」開催 76回開催、来室組数 延べ279組、貸出数290点<br>③広報活動：ポスティング、チラシ回覧<br>④産前産後サポート   |
| 市関係希望部署 | 子育て支援部(子ども家庭課)、子育て支援センター、教育委員会(社会教育課)<br>希望理由：ひろばの来場対象が、乳児・幼児・小学生・その保護者のため。  |